

# 平成30年 火災・救急・救助の概要



## 舞鶴市消防本部

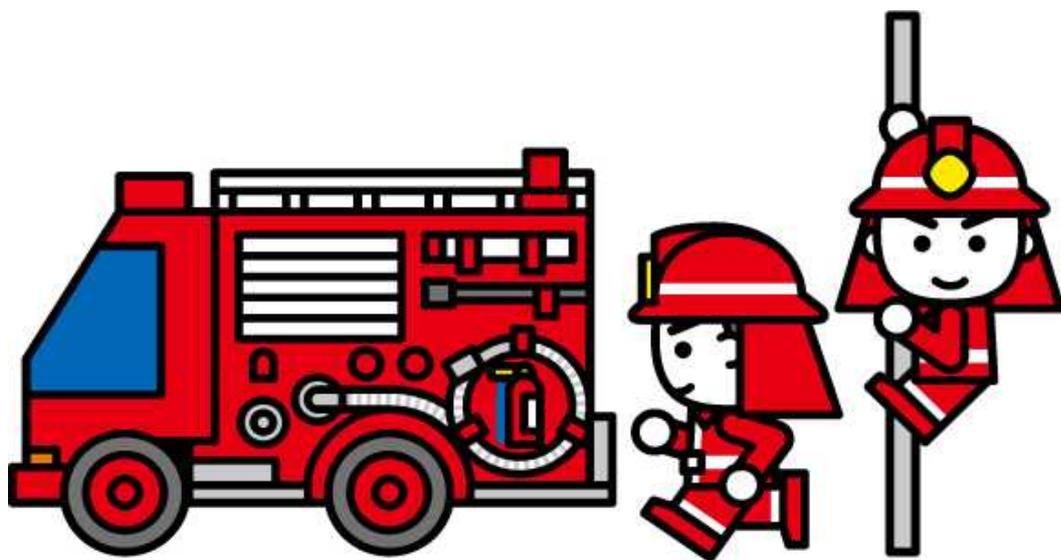
消防本部ホームページ <http://www.maizuru119.com/>

Eメールアドレス [syoubou@city.maizuru.lg.jp](mailto:syoubou@city.maizuru.lg.jp)





# 火災





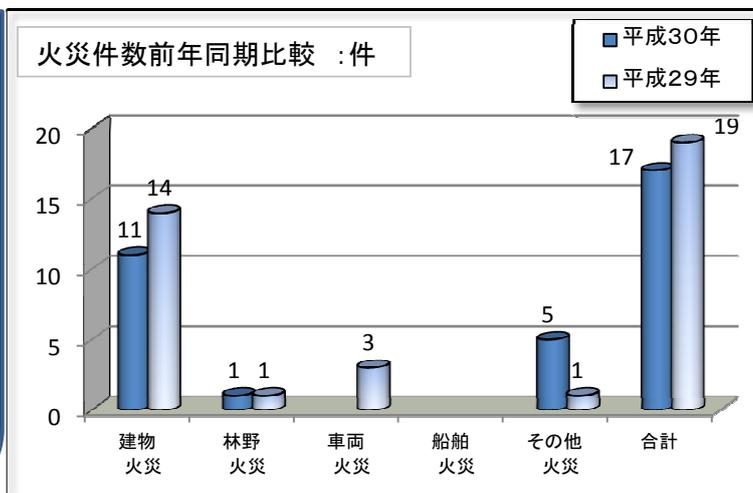
# 平成30年 火災概要

## 《火災の概要》

平成30年中の火災件数は17件で、前年から2件減少しました。

火災種別では、建物火災11件、林野火災1件、その他火災5件となっています。

火災原因の主なものは、たき火が3件、こんろ、電気機器が各2件、たばこ、煙突・煙道、火あそび、取灰、放火の疑いがそれぞれ1件となっています。

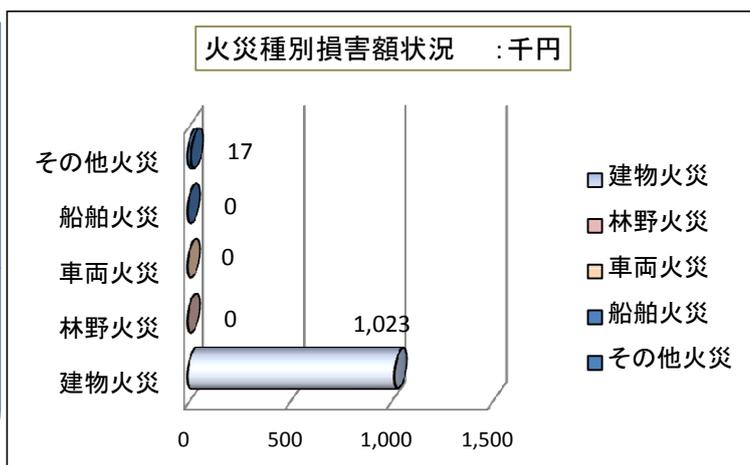


## 《火災損害状況》

火災損害額は、1,040千円で、前年と比較すると10,300千円減少し、うち建物火災による損害額が1,023千円と全火災の損害額の98%を占めています。

火災1件あたりに換算すると61千円/件となっています。

1日あたりに換算すると、3千円/日となっています。



## 《焼損面積等》

建物焼損面積については、焼損床面積が273平方メートル、焼損表面積が22平方メートルで、焼損面積の合計は295平方メートル(平成29年中374平方メートル)となっています。また、林野が14平方メートル焼損しています。

## 《死者及び負傷者》

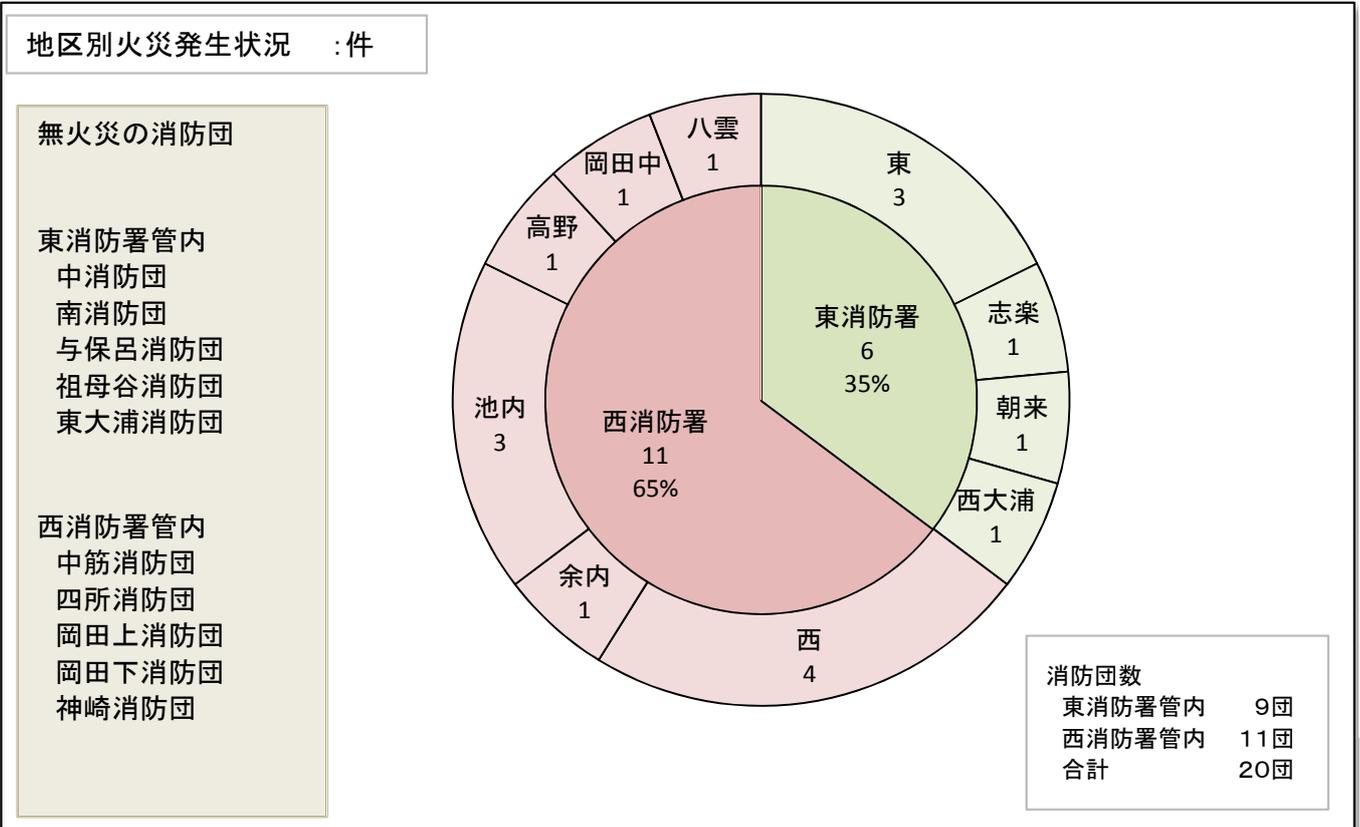
火災による死傷者数は、負傷者が1名(平成29年中死者2名、負傷者2名)発生しました。

住宅用火災警報器の点検をしましょう!



《地区別火災発生件数》

火災件数を消防署管轄別で見ると、東消防署管内が6件、西消防署管内が11件発生しています。  
 また、消防団管轄区域別で見ると、西消防団管内で4件発生し、東消防団及び池内消防団管内で各3件、志楽消防団、朝来消防団、西大浦消防団、余内消防団、高野消防団、岡田中消防団、八雲消防団管内でそれぞれ1件発生しています。



過去5年間の火災概要

火災種別出火件数の推移

(単位: 件)

	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
平成26年	12		1	1	5	19
平成27年	12	1	2		2	17
平成28年	11		4		2	17
平成29年	14	1	3		1	19
平成30年	11	1			5	17

火災種別損害額の推移

(単位: 千円)

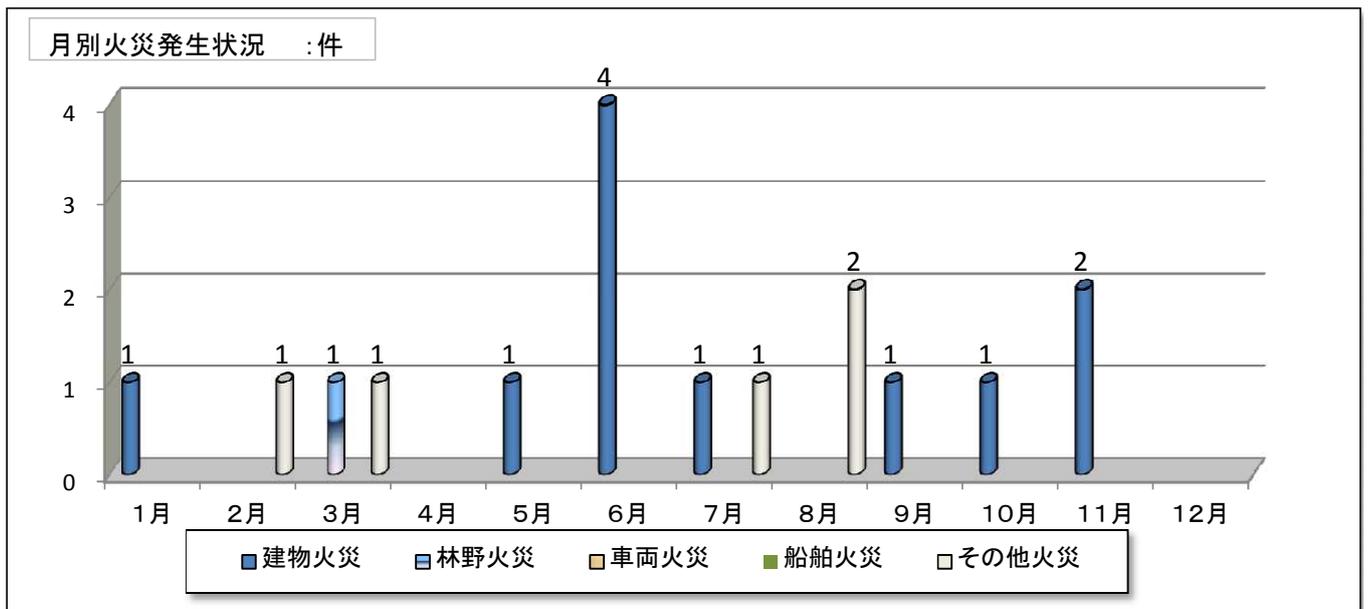
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	その他	合計
平成26年	65,970		130	53	99	66,252
平成27年	63,190		208			63,398
平成28年	158,994		342		14	159,350
平成29年	11,325		15			11,340
平成30年	1,023				17	1,040

## 火災概況及び前年比

種別		年別	平成30年	平成29年	比較(△減)
出火件数	計		17 件	19 件	△ 2 件
	建物		11 件	14 件	△ 3 件
	うち住宅火災		6 件	10 件	△ 4 件
	林 野		1 件	1 件	0 件
	車 両		0 件	3 件	△ 3 件
	船 舶		0 件	0 件	0 件
	その他		5 件	1 件	4 件
焼損面積等	建物床面積(m <sup>2</sup> )		273 m <sup>2</sup>	326 m <sup>2</sup>	△ 53 m <sup>2</sup>
	建物表面積(m <sup>2</sup> )		22 m <sup>2</sup>	48 m <sup>2</sup>	△ 26 m <sup>2</sup>
	林 野(a)		14 a	12 a	2 a
	車 両(台)		0 台	2 台	△ 2 台
	船 舶(艇)		0 艇	0 艇	0 艇
	その他(m <sup>2</sup> )		3,449 m <sup>2</sup>	28 m <sup>2</sup>	3,421 m <sup>2</sup>
焼損棟数	全 焼		2 棟	5 棟	△ 3 棟
	半 焼		0 棟	1 棟	△ 1 棟
	部分焼		2 棟	5 棟	△ 3 棟
	ぼ や		7 棟	9 棟	△ 2 棟
損害額	建物火災		1,023 千円	11,325 千円	△ 10,302 千円
	建物火災以外		17 千円	15 千円	2 千円
	合 計		1,040 千円	11,340 千円	△ 10,300 千円
り災世帯	全 損		0 世帯	3 世帯	△ 3 世帯
	半 損		0 世帯	0 世帯	0 世帯
	小 損		6 世帯	10 世帯	△ 4 世帯
り災人員			9 人	28 人	△ 19 人
死傷者	死 者		0 人	2 人	△ 2 人
	負傷者		1 人	2 人	△ 1 人
火災発生間隔			21.5 日	19.2 日	—————
1件平均損害額			61 千円	597 千円	△ 536 千円
1日平均損害額			3 千円	31 千円	△ 28 千円

# 月別火災発生状況

種別	月別												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出火件数	計	1	1	2		1	4	2	2	1	1	2	17
	建物	1				1	4	1		1	1	2	11
	うち住宅火災	1					2	1		1	1		6
	林野			1									1
	車両												
	船舶												
その他		1	1				1	2					5
焼損面積	建物床面積(m <sup>2</sup> )					270	1				2		273
	建物表面積(m <sup>2</sup> )						21			1			22
	林野(a)			14									14
	車両(台)												
	船舶(艇)												
	その他(m <sup>2</sup> )			664				150	2,635				
焼損棟数	全焼					1					1		2
	半焼												
	部分焼						2						2
	ぼや	1					2	1		1	1	1	7
損害額(千円)	計		17			600	351	24		39		9	1,040
	建物					600	351	24		39		9	1,023
	林野												
	車両												
	その他		17										17
り災世帯	全損												
	半損												
	小損	1					2	1		1	1		6
り災者数	2					3	2		1	1		9	
死傷者	死者												
	負傷者							1					1



覚知時間別火災発生状況

(単位:件)

月別 時間別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
	建物	林野	車両	船舶	その他													
0時～1時																		0
1時～2時																		0
2時～3時																		0
3時～4時																		0
4時～5時					1					1				2				2
5時～6時																		0
6時～7時		1															1	1
7時～8時																		0
8時～9時						1								1				1
9時～10時																		0
10時～11時								1									1	1
11時～12時									1					1				1
12時～13時																		0
13時～14時						1	1							2				2
14時～15時																		0
15時～16時			1									1		1			1	2
16時～17時			1												1			1
17時～18時	1					1	1	1						2			2	4
18時～19時																		0
19時～20時																		0
20時～21時						1						1		2				2
21時～22時																		0
22時～23時																		0
23時～24時																		0
合計	1	1	2	0	1	4	2	2	1	1	2	0	11	1	0	0	5	17

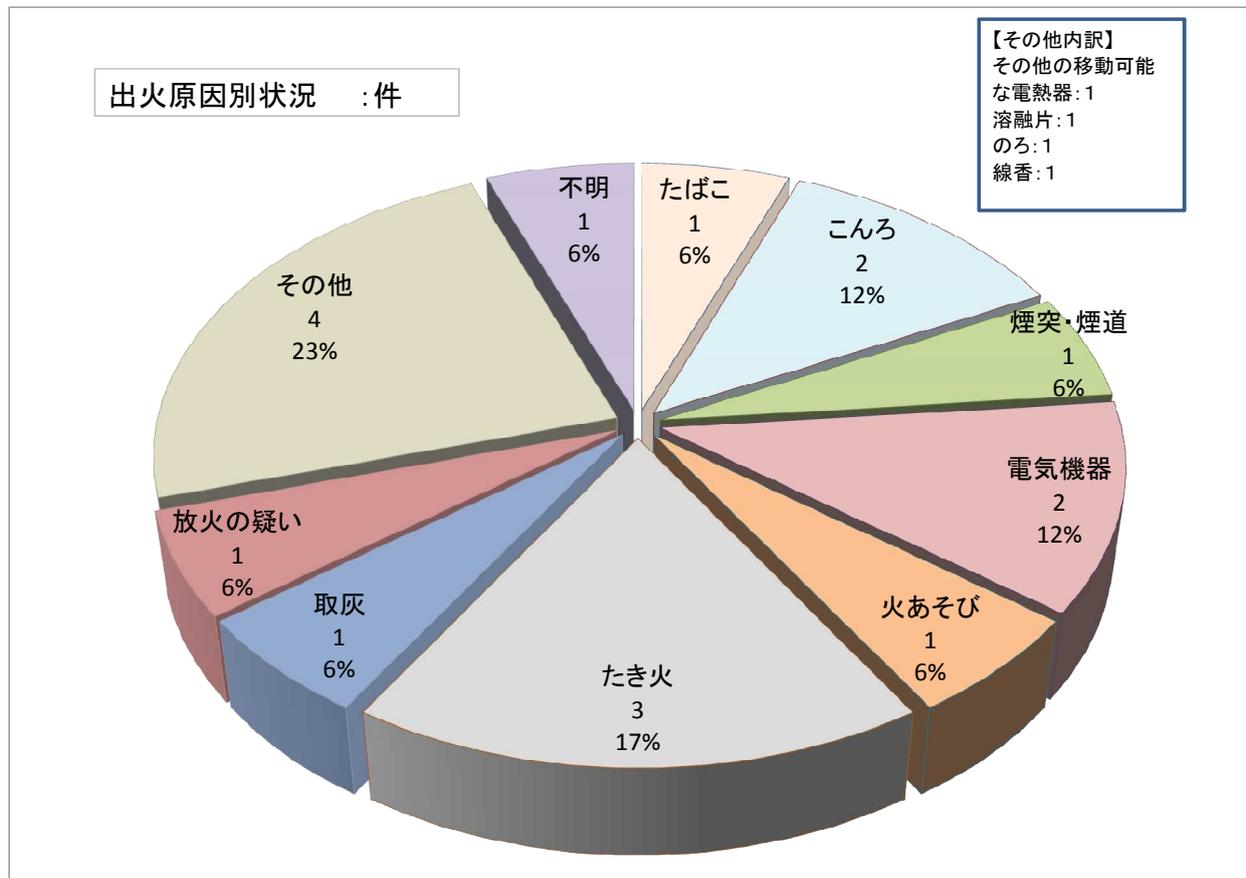
曜日別火災発生状況

(単位:件)

月別 曜日別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	火災種別					合計
	建物	林野	車両	船舶	その他													
日曜日										1				1				1
月曜日	1					1		1	1					3			1	4
火曜日			1			1	1							2			1	3
水曜日			1		1									1	1			2
木曜日																		0
金曜日						1						2		3				3
土曜日		1				1	1	1						1			3	4
合計	1	1	2	0	1	4	2	2	1	1	2	0	11	1	0	0	5	17

## 出火原因別状況

原因	火災件数(件)						損害額 (千円)	焼損面積等						負傷者 (人)	死者 (人)
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他		建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (艇)	その他 (㎡)		
たばこ	1	1					121		11						
こんろ	2	2													
煙突・煙道	1	1					4								
電気機器	2	2					64		1						
火あそび	1		1							14					
たき火	3					3						3449			
取灰	1	1					5	2							
放火の疑い	1					1									
その他	4	3				1	846	271	10					1	
不明	1	1													
合計	17	11	1	0	0	5	1,040	273	22	14	0	0	3449	1	0



## 消防事故の概要

### ≪消防事故の概要≫

平成30年中の消防事故件数は、313件で昨年に比べ73件増加しました。  
 その要因として、平成30年7月豪雨や台風などによる自然災害が135件(平成29年中104件)と多く発生したことによるものです。

### 消防事故発生状況

種 別	年 別	平成30年	平成29年	前年との比較
	消 防 事 故 種 別	焼 損 事 故	6	
爆 発 事 故			1	△ 1
漏 洩・流 出 事 故		26	23	3
電 気 事 故		3	1	2
燃 焼 放 置 事 故		1	4	△ 3
誤 報 事 故		23	23	0
そ の 他 の 事 故		254	188	66
合 計		313	240	73



# 救 急





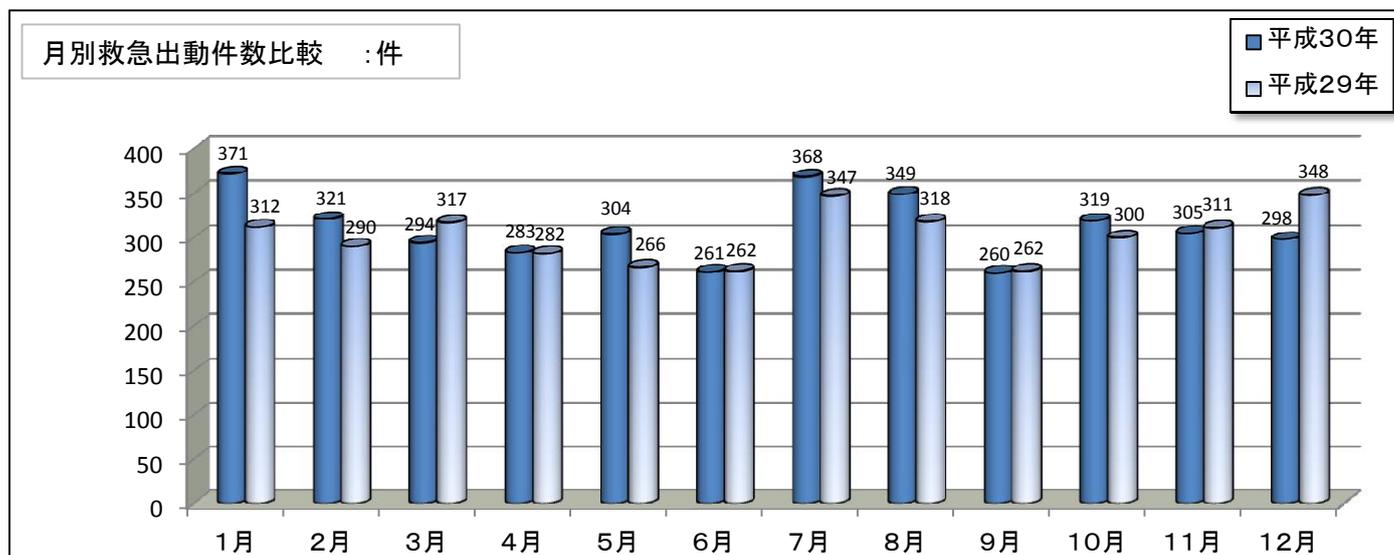
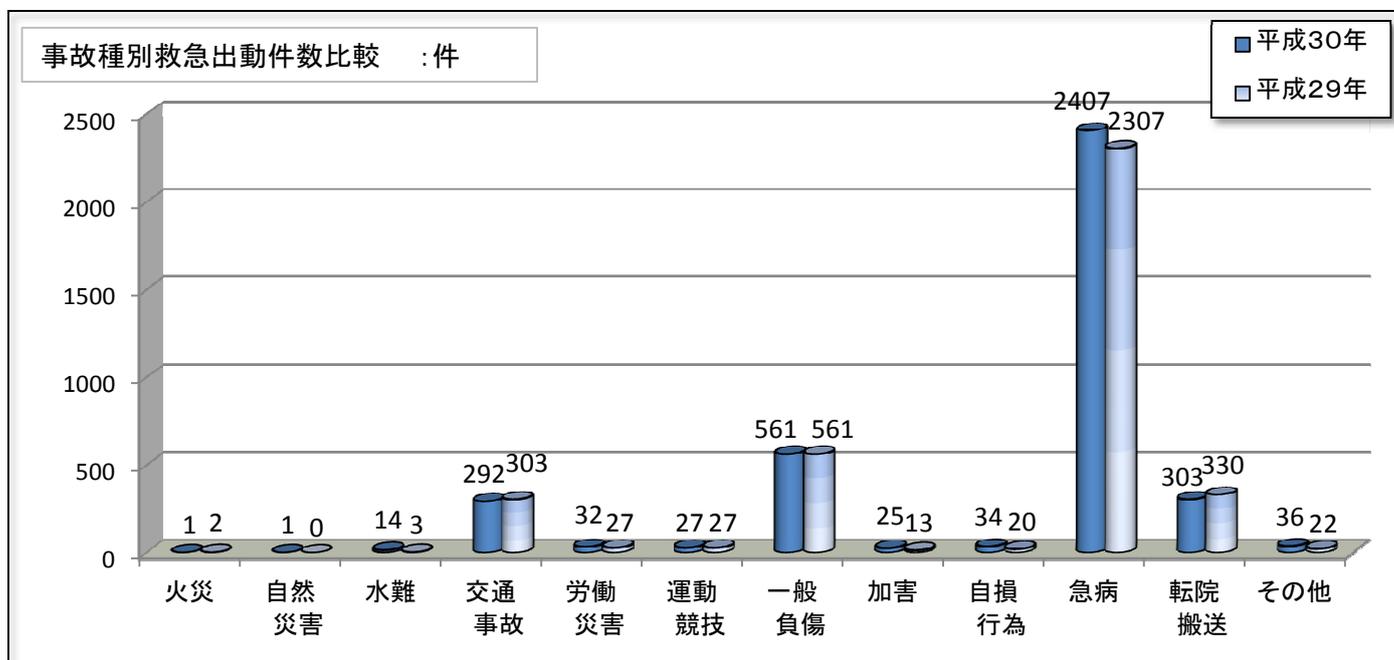
# 平成30年 救急概要

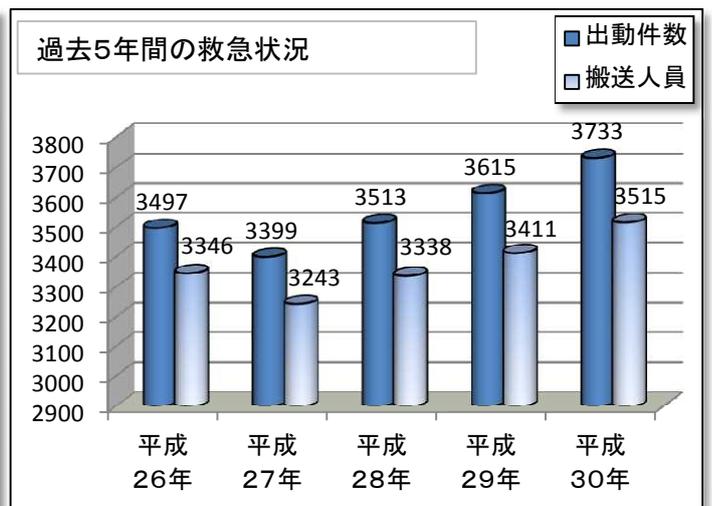
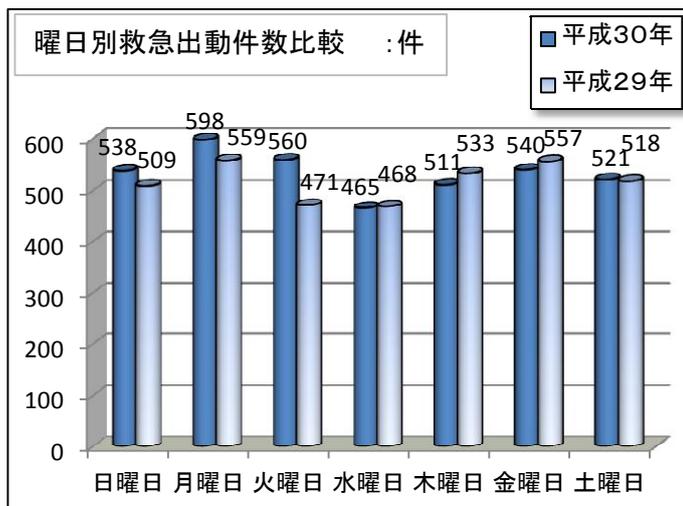
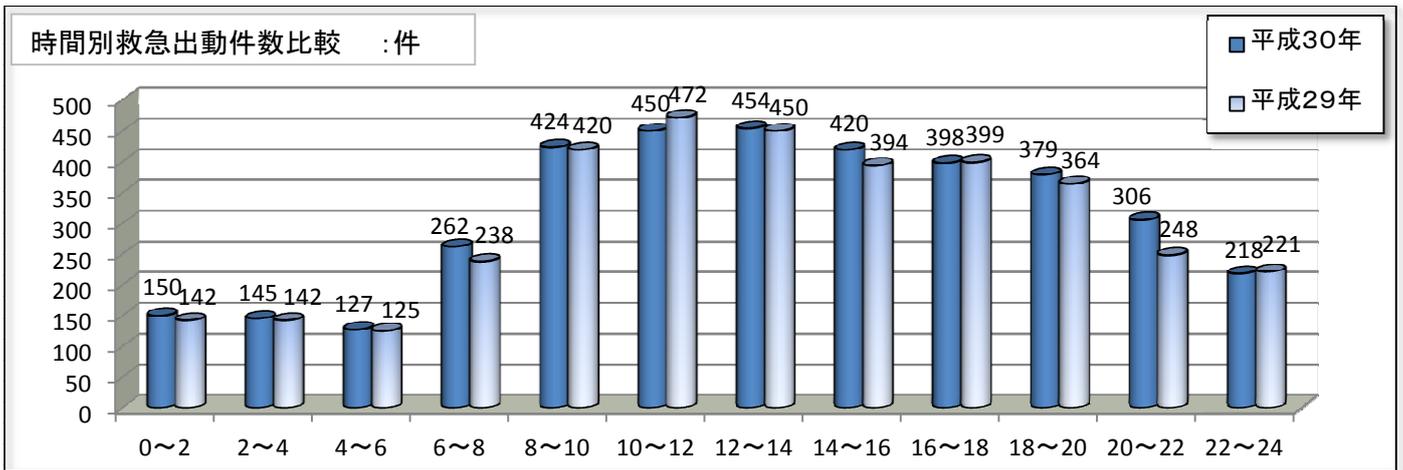
## 《救急の概要》

平成30年の救急出動件数は3,733件で、前年(3,615件)と比較すると118件の増加、救急搬送人員については3,515人で、前年(3,411人)と比較すると104人の増加となり出動件数、搬送人員ともに過去最多となっています。

## 《救急出動件数》

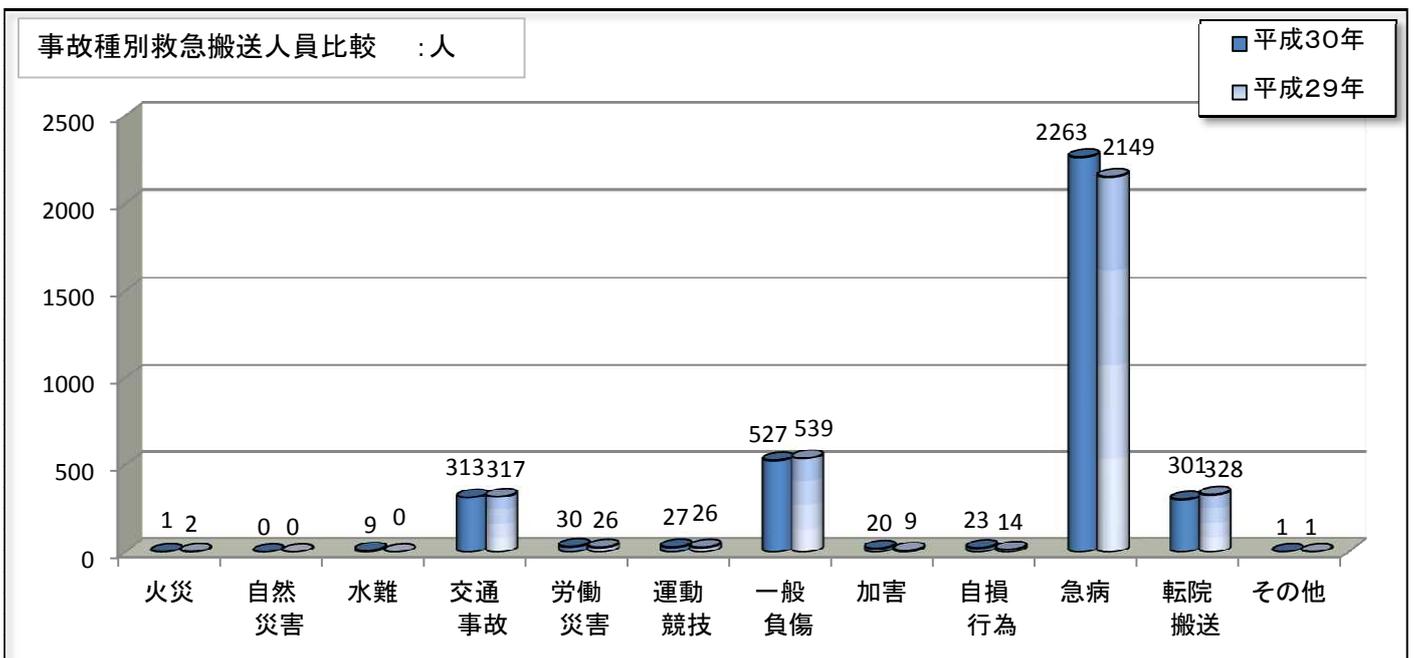
事故種別救急出動件数をみると、急病は2,407件、一般負傷561件、転院搬送303件、交通事故292件の順となり、前年と比較すると、急病は100件増加し、自損行為は14件増加、加害は12件増加しています。また、転院搬送は27件減少、交通事故は11件減少、火災は1件減少しています。





#### 《搬送人員状況》

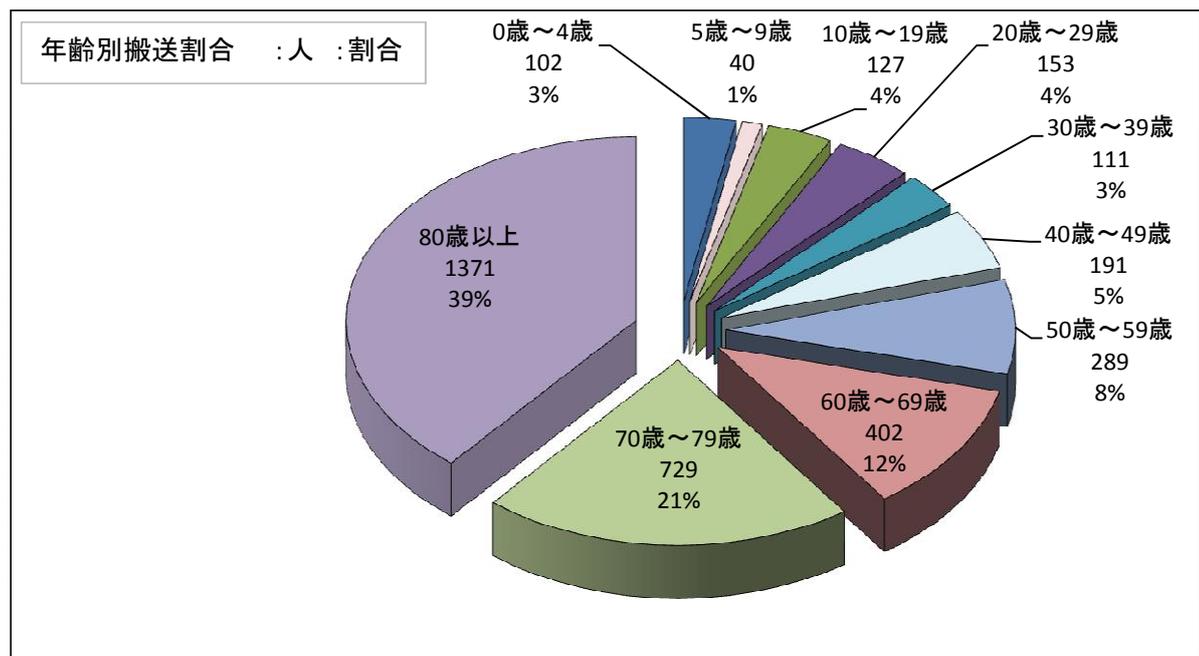
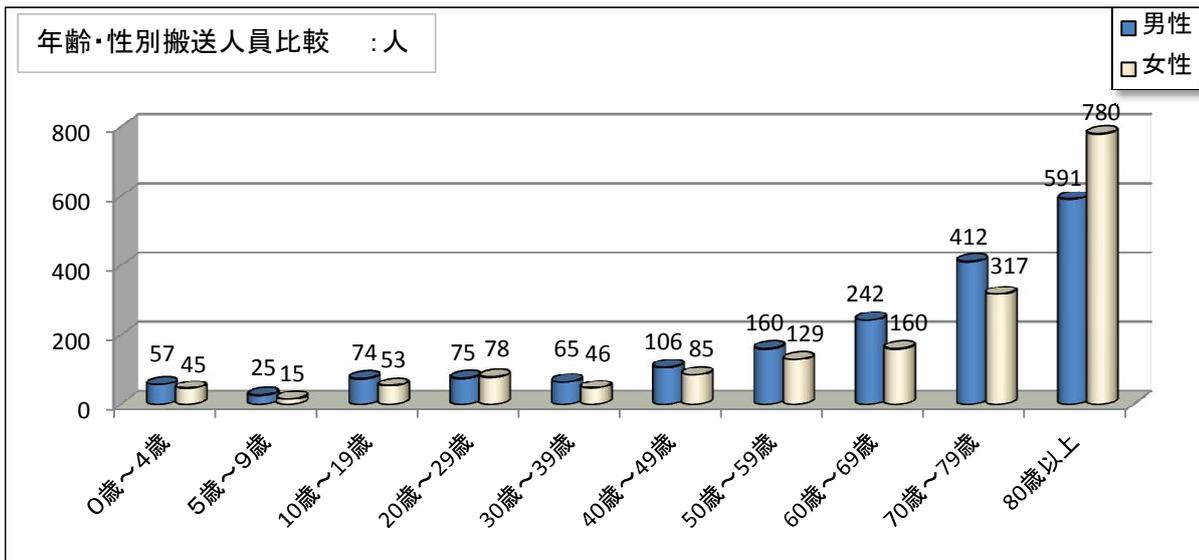
救急搬送人員は3,515人で、性別では男性が1,807人、女性が1,708人となっています。  
年齢区分別の搬送人員は、70歳以上が2,100人と全体の約60%を占めています。



《年齡・性別搬送人員比較》

(單位:人)

年齡	平成30年			平成29年			比較(△減)		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
0歳～4歳	57	45	102	58	42	100	△ 1	3	2
5歳～9歳	25	15	40	27	18	45	△ 2	△ 3	△ 5
10歳～19歳	74	53	127	60	53	113	14	0	14
20歳～29歳	75	78	153	70	58	128	5	20	25
30歳～39歳	65	46	111	58	68	126	7	△ 22	△ 15
40歳～49歳	106	85	191	104	102	206	2	△ 17	△ 15
50歳～59歳	160	129	289	153	87	240	7	42	49
60歳～69歳	242	160	402	269	153	422	△ 27	7	△ 20
70歳～79歳	412	317	729	384	280	664	28	37	65
80歳以上	591	780	1,371	536	831	1,367	55	△ 51	4
合計	1,807	1,708	3,515	1,719	1,692	3,411	88	16	104



《傷病程度別搬送状況》

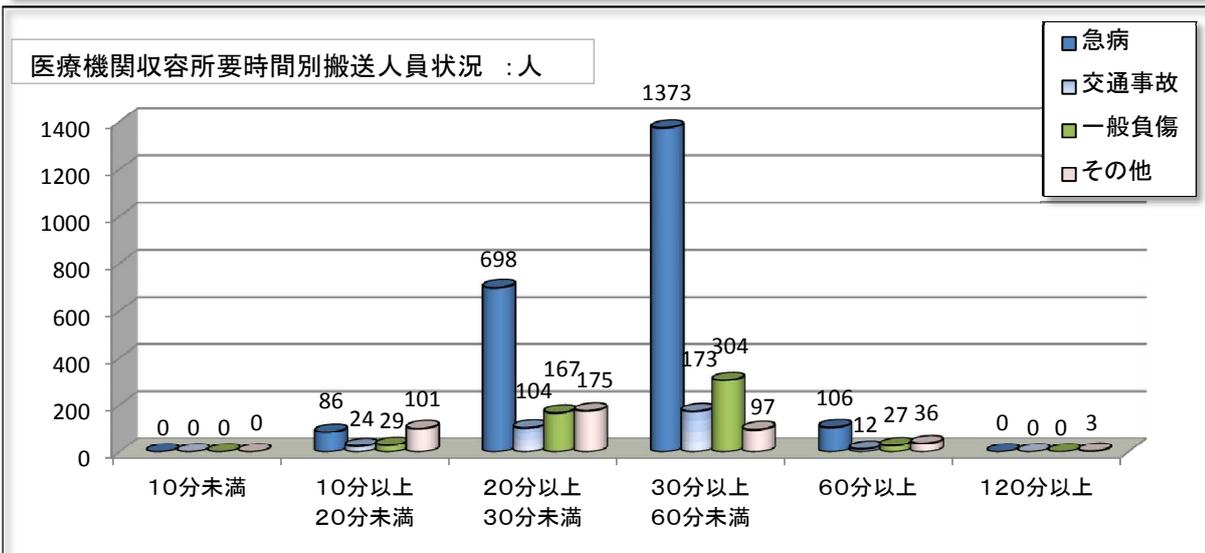
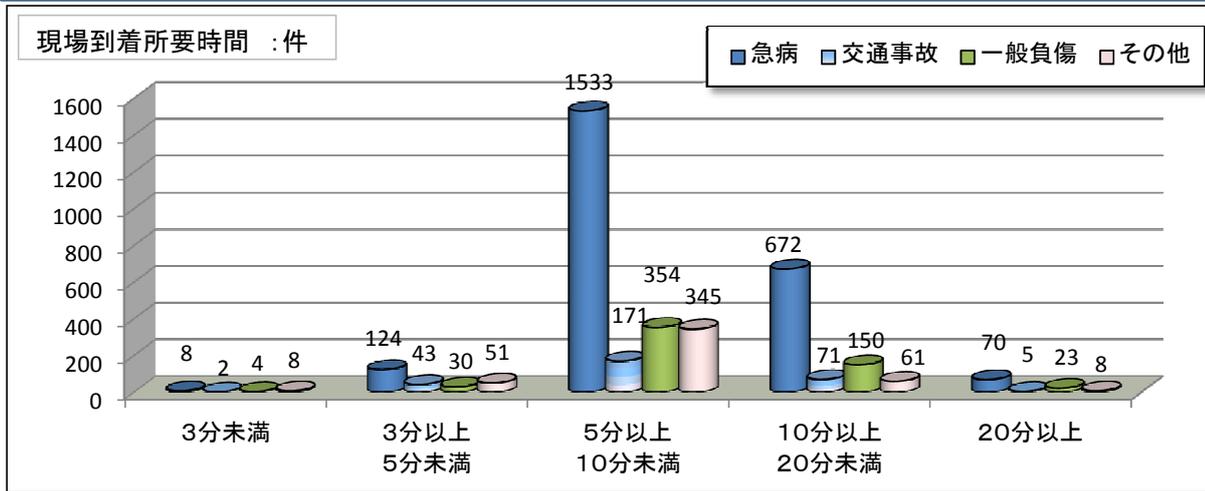
傷病程度別搬送状況は軽症が1,701人で全搬送人員の約48%を占め、次いで中等症1,222人(約35%)、重症514人(約15%)の順となっています。

	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計(人)
急病	63	261	850	1,089	0	2,263
一般負傷	3	123	131	270	0	527
交通事故	1	23	49	240	0	313
その他	11	107	192	102	0	412
合計	78	514	1,222	1,701	0	3,515

- ※ 死亡:初診時において、死亡が確認されたもの
- 重症:傷病の程度が21日以上入院加療を必要とするもの
- 中等症:傷病の程度が入院を要するもの(21日未満の入院)
- 軽症:傷病の程度が入院を必要としないもの
- その他:医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

《救急所要時間状況》

救急隊が119番を受信してから現場到着するまでの所要時間は、平均8.6分となり、医療機関収容所要時間の平均は35分となっています。  
医療機関への収容所要時間で60分以上要している中には、市外への搬送も含まれています。



《事故種別でみる搬送先別搬送者数》

(単位:人)

事故種別 搬送医療機関	救急事故種別											合計	
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他		
											転院搬送		その他
舞鶴市内	1	0	8	312	27	27	523	20	21	2,255	261	1	3,456
管外	中丹									8	15		23
	府下 (中丹以外)										20		20
	府外			1	1	3	4		2		5		16
その他の場所													0
合計	1		9	313	30	27	527	20	23	2,263	301	1	3,515

※ドクターヘリ搬送は、府外へ計上。その他の場所は、搬送先が医療機関以外のものを計上(例:老人ホーム、歯科など)

《急病比較(年間)》

区分	年別				
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
全搬送人員	3,346	3,243	3,338	3,411	3,515
急病搬送人員	2,131	2,037	2,166	2,149	2,263
急病による搬送人員の全搬送人員に対する割合	64%	63%	65%	63%	64%

《急病にかかる疾病分類別傷病程度》

(単位:人)

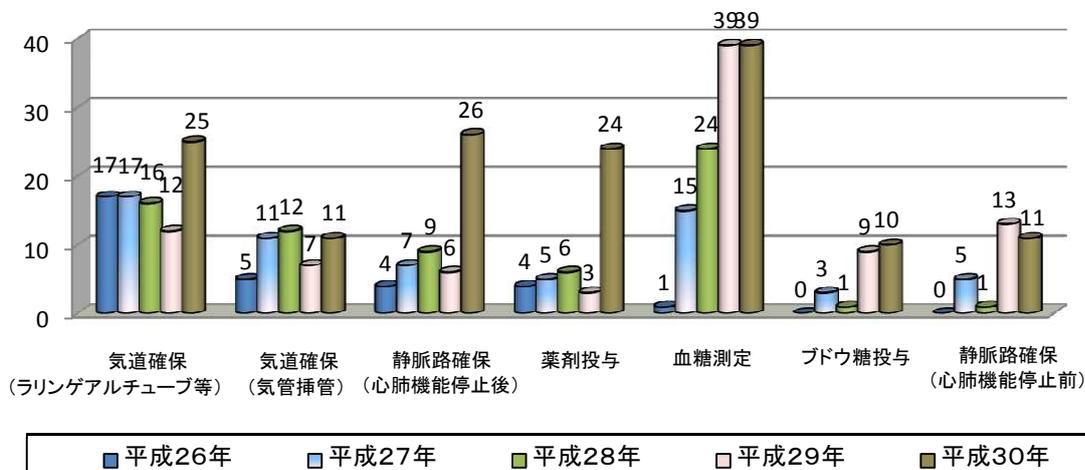
疾病分類	傷病程度	傷病程度					合計
		死亡	重症	中等症	軽症	その他	
循環系	脳疾患	1	84	63	26	0	174
	心疾患等	59	40	86	71	0	256
消化系		0	19	103	53	0	175
呼吸系		1	41	182	89	0	313
精神系		0	3	18	81	0	102
感覚系		1	5	70	101	0	177
泌尿系		0	4	42	41	0	87
新生物系		1	11	33	3	0	48
その他		0	41	164	270	0	475
症状・徴候 診断名不明確		0	13	89	354	0	456
合計		63	261	850	1,089	0	2,263

《応急処置・救命処置実施状況》

搬送人員3,515人の内、救急隊員が何らかの応急処置を実施した対象人員は3,498人で全搬送人員の99%にあたり、応急処置総合計は13,297件で搬送人員1人あたり4件の応急処置をしたこととなります。また、救急救命士による救命処置をみると器具による気道確保36件(ラリングアルチューブ等25件、気管挿管11件)、静脈路確保37件(心肺停止前11件、心肺停止後26件)、薬剤投与24件、血糖測定39件、ブドウ糖投与10件実施しました。

処置別	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
応急処置	止血	9	12	40	7	68
	固定	7	78	32	14	131
	人工呼吸	8	0	1	0	9
	胸骨圧迫	0	0	0	0	0
	心肺蘇生	82	1	4	7	94
	うち自動	0	0	0	0	0
	酸素吸入	629	18	42	118	807
	気道確保(特定行為除く)	91	2	4	13	110
	保温	1,106	58	183	164	1,511
	被覆	8	47	103	23	181
	在宅療法継続	147	4	16	14	181
	ショックパンツ	0	0	0	0	0
	血圧測定	2,118	293	506	345	3,262
	聴診器による心・呼吸音聴取	1,015	139	154	87	1,395
	血中酸素飽和度測定	2,175	306	516	388	3,385
	心電図	1,584	64	153	167	1,968
	うち伝送	0	0	0	0	0
	除細動	11	0	0	1	12
	その他	31	0	0	6	37
応急処置合計		9,021	1,022	1,754	1,354	13,151
救命処置	気道確保(ラリングアルチューブ等)	25	0	0	0	25
	気道確保(気管挿管)	7	0	3	1	11
	静脈路確保(心肺停止後)	22	0	3	1	26
	薬剤投与	21	0	2	1	24
	血糖測定	39	0	0	0	39
	ブドウ糖投与	10	0	0	0	10
	静脈路確保(心肺停止前)	11	0	0	0	11
救命処置合計		135	0	8	3	146
応急処置総合計		9,156	1,022	1,762	1,357	13,297
応急処置対象人員		2,260	310	523	405	3,498

過去5年間の救命処置別推移 : 件



※「心肺機能停止前の静脈路確保及び輸液」並びに「血糖測定及び低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与」については、平成26年10月1日に舞鶴市消防本部は運用開始しております。

# 救助





# 平成30年 救助概要

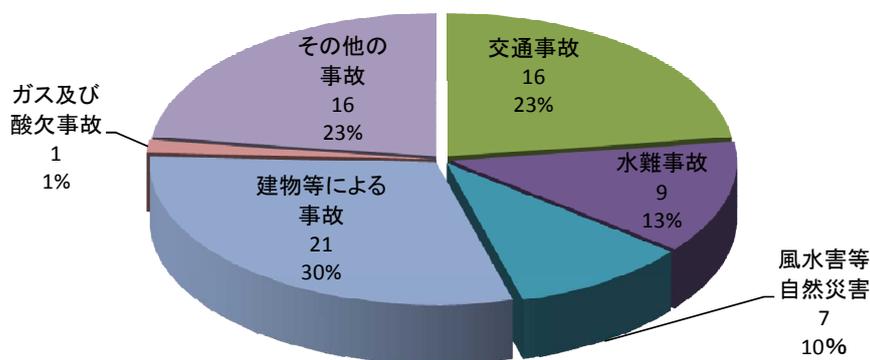
## 《救助の概要》

平成30年の救助出動件数は70件で、前年と比較すると1件減少し、また、救助人員は56人で前年と比較すると5人増加しました。

事故種別救助人員で見ると、風水害等自然災害が20人と最も多く、次いで建物等による事故が13人、交通事故が9人でした。

区分 事故種別	平成30年			平成29年			前年比較		
	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員	出動 件数	活動 件数	救助 人員
火災(建物)				2	2	2	△ 2	△ 2	△ 2
火災(建物以外)									
交通事故	16	7	9	19	14	17	△ 3	△ 7	△ 8
水難事故	9	5	5	1			8	5	5
風水害等自然災害	7	7	20	7	5	8		2	12
機械による事故				2	1	1	△ 2	△ 1	△ 1
建物等による事故	21	16	13	20	13	13	1	3	
ガス及び酸欠事故	1	1	1	1				1	1
破裂事故									
その他の事故	16	7	8	19	11	10	△ 3	△ 4	△ 2
合計	70	43	56	71	46	51	△ 1	△ 3	5

事故種別救助出動件数 : 件 : 割合



救助出動件数比較 : 件

